お知らせ

INFORMATION

No.2014-13
2014年4月

病体生理研究所

「微生物検査」の報告内容の変更について

拝啓　時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は当研究所をご利用頂きまして誠に有り難うございます。

この度、細菌検査部門システム更新に伴い、微生物検査関連報告の変更を以下の内容で実施させて頂きます。
併せて、関連統計帳票の変更を実施させて頂きます。

何卒、ご利用頂けますようご案内申し上げます。

敬具

記

【微生物検査の報告内容の変更について】

◆ 微生物検査の報告菌名称の変更
◆ 微生物検査の報告菌名の追加
◆ CD(ｸﾛｽﾄﾘｼﾞｳﾑ･ﾃﾞｨﾌｨｼﾙ)-抗原の報告について

◆ 微生物統計帳票の改訂について
1、陽性者一覧（週報）
2、抗酸菌陽性結果一覧（週報）
3、病棟別・部位別検出菌一覧（月報）
4、検出菌感受性一覧（月報）
5、抗酸菌陽性者一覧（月報）

《変更日》2014年6月23日（月）受付分より

（財）東京保健会 病体生理研究所
〒173-0025 東京都板橋区熊野町47-11　電話 03-3956-4101（代表）

◆ 微生物検査の報告菌名称の変更

① 報告菌名の変更

細菌の命名は、国際微生物連盟（IUMS：International Union of Microbiological Society）により定められた国際命名規約に基づいて行われております。細菌の命名は、分類学に分子生物学的手法が取り入れられるようになり、ここ十数年間の間に多くの細菌の再分類が行われてきました。このたび当研究所の報告菌名についても、IUMSの国際委員会より正式発表されている最新の細菌名に変更させていただきます。

新菌名	旧菌名	コード
Pseudofl avonifractor capillosus	*Bacteroides capillosus*	240115
Parabacteroides distasonis	*Bacteroides distasonis*	240106
Campylobacter gracilis	*Bacteroides gracilis*	240118
Parabacteroides merdae	*Bacteroides merdae*	240107
Odoribacter splanchnicus	*Bacteroides splanchnicus*	240114
Campylobacter ureolyticus	*Bacteroides ureolyticus*	240117
Elizabethkingia meningoseptica	*Chryseobacterium meningosepticum*	144901
Tissierella praeacuta	*Clostridium hastiforme*	220511
Cronobacter sakazakii	*Enterobacter sakazakii*	140204
Collinsella aerofaciens	*Eubacterium aerofaciens*	221001
Eggerthella lenta	*Eubacterium lentum*	221002
Aggregatibacter aphrophilus	*Haemophilus aphrophilus*	146805
Legionella bozemanae	*Legionella bozemanii*	147202
Fluoribacter dumoffi i	*Legionella dumoffi i*	147203
Fluoribacter gormanii	*Legionella gormanii*	147204
Tatlockia micdadei	*Legionella micdadei*	147205
Peptoniphilus asaccharolyticus	*Peptostreptococcus asaccharolyticus*	210102
Peptoniphilus indolicus	*Peptostreptococcus indolicus*	210104
Finegoldia magna	*Peptostreptococcus magnus*	210105
Parvimonas micra	*Peptostreptococcus micros*	210106
Anaerococcus prevotii	*Peptostreptococcus prevotii*	210107
Anaerococcus tetradius	*Peptostreptococcus tetradius*	210109
Streptococcus sanguinis	*Streptococcus sanguis*Ⅱ	110425

② 報告菌名称の統合

下記、2 菌種については、この間の知見により生化学的性状だけでは区別することが困難であることが判ってきました。従いまして、下記の 2 菌種が検出された場合には、菌種名を統合した形でご報告をさせていただきます。

新菌名	旧菌名	コード
Streptococcus mitis /oralis	*Streptococcus mitis* *Streptococcus oralis*	149926

◆ 微生物検査の報告菌名の追加

これまで、薬剤耐性菌等の検出時はコメントにて報告しておりましたが菌名として報告をさせて頂きます。

また、菌種によっては種までの分類が困難な場合が有り統合名にて報告をさせて頂きます。

菌名	コード	菌名	コード
E.coli (ESBL)	149901	*S. pneumonia* (PISP)	149914
K. oxytoca (ESBL)	149902	*Enterococcus faecalis* (VRE)	149915
K. pneumonia (ESBL)	149903	*Enterococcus faecalis* (VIE)	149916
Enterobacter sp (ESBL)	149904	*Enterococcus faecium* (VRE)	149917
P. mirabilis (ESBL)	149905	*Enterococcus faecium* (VIE)	149918
P. vulgaris (ESBL)	149906	多剤耐性 *Acinetobacter* sp.	149919
Citrobacter sp (ESBL)	149907	多剤耐性 *P. aeruginosa*	149920
M. morganii (ESBL)	149908	*Helicobacter* sp	149921
P. rettgeri (ESBL)	149909	*Vibrio cholerae* O139	149922
Providencia sp (ESBL)	149910	*Ac baumannii/haem*	149923
Serratia sp (ESBL)	149925	*Ps fluorescens/putida*	149924
MR-CNS	149911	*Aspergillus niger*	149927
H. influenza (BLNAR)	149912	*Malassezia* sp	149928
S. pneumonia (PRSP)	149913		

◆ CD(ｸﾛｽﾄﾘｼﾞｳﾑ･ﾃﾞｨﾌｨｼﾙ)-抗原の報告について

現在、CD-トキシン検査を実施している検査試薬にて、CD-抗原も同時に測定しております。今後、CD-トキシンご依頼時には、CD-抗原の結果も併せてご報告致します。

項目名〔コード〕	変更内容	新	従来
CD-トキシン〔0370〕	報告内容	CD-トキシン〔0370〕 CD-抗原〔0371〕	CD-トキシン〔0370〕

＊ CD-トキシンと CD-抗原の結果について

CD-トキシン	CD-抗原	結果の考え方
(－)	(－)	陰性又は感度以下を示します。
(＋)	(＋)	陽性を示します。
(－)	(＋)	CD-トキシンは陰性又は感度以下を示し、CD-抗原が(＋)である事を示しします。

1、感染対策情報レポート 週報　　陽性者一覧　見本

用紙サイズ A4 横

○○病院
院内感染対策委員会御中

感染対策情報レポート（ 週報 ）
対象期間 ： 2014年03月1日～2014年03月07日

① **陽性者一覧**

② 菌種	施設名	受付日	受付番号	患者名	③ 患者 ID	その他No	材料
MRSA	○○○○○○○○病院 3階 外科	2014/3/2	5001	○○○○○○○○	10000000000	1000000000	静脈血
	○○○○○○○○病院 2階 内科	2014/3/4	1	○○○○○○○○	20000000000	2000000000	IVH
緑膿菌	○○○○○○○○病院 内科 外来	2014/3/1	1	○○○○○○○○	20000000000	20000000000	IVH
	○○○○○○○○病院 2階 内科	2014/3/3	501	○○○○○○○○	30000000000	30000000000	咽頭
多剤耐性緑膿菌	○○○○○○○○病院 内科 外来	2014/3/4	2	○○○○○○○○	22000000000	22000000000	尿
ｱｼﾈﾄﾊﾞｸﾀｰ	○○○○○○○○病院 内科 外来	2014/3/5	50	○○○○○○○○	50000000000	50000000000	膿
	○○○○○○○○病院 2階 内科	2014/3/2	501	○○○○○○○○	30000000000	30000000000	咽頭
多剤耐性ｱｼﾈﾄﾊﾞｸﾀｰ	○○○○○○○○病院 外科 外来	2014/3/1	3001	○○○○○○○○	33000000000	30000000000	喀痰
ﾍﾟﾆｼﾘﾝ(MPIPC耐性)耐性肺炎球菌	○○○○○○○○病院 外科 外来	2014/3/5	3	○○○○○○○○	50000000000	5000000000	喀痰

変更点

① 見出しを表示し、帳票の種類を分かり易く致しました。

② 検出菌毎に表示することにより、検出菌が容易に把握できるように致しました。

③ 患者ID、その他Noの患者情報を追加表示し、掲載内容の充実を図りました。

2、感染対策情報レポート 週報　抗酸菌陽性結果一覧　見本

用紙サイズ A4 横

○○病院
院内感染対策委員会御中

感染対策情報レポート（ 週報 ）
対象期間 2014年03月01日～2014年03月07日

①
抗酸菌陽性結果一覧

施設名		受付日	受付番号	患者名	②患者ID	その他No	材料	③進捗
○○病院								
		2014/3/1	3001	○○○○○○○○	10000000000	1000000000	喀痰	判定日
塗抹	集菌塗抹法	(-)						
分離培養	MGIT法	3日目(+)						
同 定	菌名 1	M. tuberculosis						2014/3/4
薬剤感受性	感受性1	SM 10 S	INH 0.2 S	INH 1.0 S	RFP 40 S	EB 2.5 S	KM 20 S	2014/3/5
		EVM 20 S	TH 20 S	CS 30 S	PAS 0.5 S	LVFX 1.0 S		
○○病院								
		2014/3/2	3001	○○○○○○○○	10000000000	1000000000	喀痰	判定日
塗抹	集菌塗抹法	(1+)						
分離培養	MGIT法	3日目(+)						2014/3/5
同 定	菌名 1	M.avium-intracellulare						2014/3/6

変更点
① 見出しを表示し、帳票の種類を分かり易く致しました。
② 患者ID、その他Noの患者情報を追加し表示致しました。
③ 判定した日付を記載し分かり易く致しました。

3、 感染対策情報レポート 月報　　病棟別･部位別検出菌一覧 見本

用紙サイズ A4 縦

○○病院
院内感染対策委員会御中

感染対策情報レポート（ 月報 ）

対象期間 ： 2014年03月分

病棟別･部位別検出菌一覧

		呼吸器	泌尿器	消化器（便を含む）①	血液・穿刺	その他	総数
○○病院　内科外来	検体数	5	3	4	1	0	13
MRSA		1					1
Staphylococcus aureus		2					2
Enterococcus faecalis			2				2
Campylobacter jejuni/coli				2			2
Streptococcus agalactiae(B群)			1				1
○○病院　3階病棟	検体数	2	10	0	2	2	16
Streptococcus sp.(C群)			1				1
Streptococcus sp.(G群)		2			1		3
Streptococcus pneumoniae			2				2
Streptococcus sp.			2				2
α-streptococcus					1		1
○○病院　小児科	検体数	4	0	5	0	2	11
Moraxella catarrhalis		2					2
Campylobacter jejuni/coli				1			1
Helicobacter pylori				1			1
E.coli						1	1
Pathogenic E.coli				1			1
Klebsiella pneumoniae						1	1

変更点

① これまで記載のなかった「消化器(便を含む)」の項目を追加し、「血液・穿刺」と１つの項目としてまとめました。

4、感染対策情報レポート 月報　検出菌感受性一覧　見本

用紙サイズ A4 横

①
〇〇病院
院内感染対策委員会御中

感染対策情報レポート 月報
対象期間 2014年03月分

検出菌感受性一覧

菌名	合計	②判定%	ABPC	PIPC	SB/ABP	CEZ	CEX	CCL	CTM	CAZ	CPZ	CTRX	CMZ	IPM	MEPM	CAM	LVFX
Enterococcus faecalis	10	S	8 80.0%	8 80.0%	10 100.0%				10 100.0%	10 100.0%				10 100.0%			
		I	2 20.0%	1 10.0%													
		R		1 10.0%													
Pseudomonas aeruginosa	5	S	5 100.0%	5 100.0%		4 80.0%	4 80.0%		5 100.0%	5 100.0%	3 60.0%	1 20.0%					
		I										4 80.0%					
		R				1 20.0%	1 20.0%				2 40.0%						

変更点
① 病院の科毎から、病院毎の統計に変更致しました。
② これまで、判定は「S」感受性のみの件数を報告していましたが、今後は「S･I･R」の件数と比率（%）を報告致します。
③ これまで、全ての検出菌を報告していましたが、今後は感染対策上有用と思われる菌についてのみ報告を行います。

5、感染対策情報レポート 月報　　抗酸菌陽性者一覧　見本

用紙サイズ A4 縦

○○病院
院内感染対策委員会御中

感染対策情報レポート （ 月報 ）
対象期間 2014年03月分

抗酸菌陽性者一覧

施設名		受付日	受付番号	患者名	① 患者ID	その他No	材料
○○○○○○○○病院	内科	2014/3/20	3001	○○○○○○○	10000000000	1000000000	喀痰
○○○○○○○○病院	外科	2014/3/23	3001	○○○○○○○	20000000000	20000000000	尿
○○○○○○○○病院	3階病棟	2014/3/25	3001	○○○○○○○	30000000000	30000000000	喀痰

変更点

① 患者ID、その他Noの患者情報を追加し表示致します。